

自然あふれる「宇久島」

「サザンサザン」うわーこんな海見たことない。朝日に照らされたオレンジ色の海、この朝日を見るし、自然と元気が湧く。波の音と小鳥の音が重なって、きれいな音を奏でている。

ここは、長崎県・五島列島最北端に位置する島「宇久島」。宇久島という名前は知っていても、魅力や良さなどは、知らないという人も多くいることでしょう。そこで、「宇久島」の魅力についてお話しをしていきます。



宇久島の魅力は、なんといっても「たくさん自然がある」ことです。宇久島は美しい自然に囲まれている。真っ白な砂浜と、真っ青な海は、海水浴場やマリンスポーツの場として人気があります。アコウの巨樹や大ソテツ、ホテルの乱舞など、自然と触れ合うパワースポットや史跡・文化財なども数多く残っています。

宇久島には、自然だけではなく「歴史」もたくさんあります。約百九十万年前の噴火によって誕生した宇久島は、玄武岩などの火山岩でできた島です。平清盛の弟である平家盛が安住の地を求めて辿り着いた島という言い伝えが残っており、島内には家盛公上陸地とされる、舟かくしなどが残されています。



また、島で採れる「新鮮食材」は、絶品です。潮の流れの速い海に囲まれた宇久島は、魚の宝箱。年中通して様々な魚が釣れます。離島、宇久島ならではの海の幸、伊勢海老、赤ハタ、アワビなど新鮮な魚介とメインにした料理をはじめ、名物の鯨カレーなどを食べるのが出来ます。

約百九十万年前という大昔に誕生した宇久島には、たくさん自然を楽しめる。大昔からの歴史がある、新鮮食材を味わうことができる。宇久島ならではの魅力があります。だから、「宇久島」は佐世保の宝なのです。

写真提供：(一社)長崎県観光連盟

歴史深い「アコウの巨樹」

まるで異世界、小さな森のよう…。住宅の横にそびえ立つ樹木、五島列島最北端の島、**宇久島**にある「アコウの巨樹」だ。佐世保市天然記念物に認定されている。また、種が海を渡ってきたと考えられている。みなさん、「アコウの巨樹」のことを知っているだろうか？ 名前は知っていても詳しくは知らない人が多いただろう。そこで、魅力を紹介し、アコウの巨樹の魅力の一つは、見た目の通り大きさだろう。

幹周り16メートルという想像もつかない大きさを、県下最大の樹となっている。その迫力から、パワースポットともなっているようだ。私も見たことがあるが、とても元気をもらえた。

また、アコウの巨樹は、**樹齢が数百年**といわれている。そのものすごい**生命力**にも圧倒される。江戸時代より遙か昔から根を下ろして、歴史的にもすごさを感じる。現在も成長しており、これからも大きくなるに違いない。

そして、アコウの巨樹は枝分かれをしていて独立した木に見えるが、実は**一本の樹**なんだそう。一本の樹でも何本かの樹に見えるということが不思議に思える。

さて、ここまで魅力を話してきたが、数百年前という大昔から、根をおろしているとはとても驚くべきことだろう。遙か昔から今までずっと守られ続けてきた。アコウの巨樹をこれからも守っていかなくてはならない。そして、人々に元気を与え続けてほしい。

だから、アコウの巨樹は**佐世保の宝**なのだ。みなさんも行ってみてはどうだろうか。

